

# チモシー新品種「ホライズン」の紹介

## 1. はじめに

当社が育成したチモシー「ホライズン」、「シリウス」とオーチャードグラス「バッカス」が平成14年に北海道優良品種に認定されました。「ホライズン」と「バッカス」については少量販売を開始しており、今後、生産現場における生育状況を確認していく予定であります。今回はチモシー新品種「ホライズン」の特性および試作状況の一部をご紹介します。

## 2. 新品種「ホライズン」の特性

- ◇系統名：SBT9502
- ◇早生品種
- ◇再生力が優れ、2番草が特に多収
- ◇耐倒伏性が優れる
- ◇当社で販売している早生品種「ホクセイ」の後継品種「ホライズン」の出穂始は全道平均でクンプウより5日遅く、ノサップより2日早い早生品種です(図1)。「ホライズン」の特徴として、1番草刈り取り後の再生力が良好であり、2番草が多収であることが挙げられます。ノサップは1番草刈り取り後の再生力が優れる早生品種ですが、全道の試験結果では、ノサップの2番草収量を上回り、乾物収量対比で105~127%の多収となりました(図2)。一般に出穂茎の割合が高いほど、2番草は多収となります。「ホライズン」の2番草多収の要因として、2番草における出穂茎数が多いことが挙げられます。なお、1番草についてはノサップ並みの多収性が確認されております。「ホライズン」のもう一つの特徴として、耐倒伏性が優れることが挙げられます。化学肥料のみで栽培された経年草地の場合、倒伏はあまり問題になりません。しかし、更新したばかりの新しい草地や糞尿が多く投入された草地では、株元から倒れることがあり、刈り遅れた場合には株元が蒸れて、2番草再生時に裸地ができる場合があります。また、1番草収穫時は、晴天

表1. 川西試作圃場における調査成績 (平成16年)

No	品種名	1番草 出穂始	2番草 出穂程度 (%)	草 丈	
				1番草	2番草
				cm	cm
1	オーロラ	6/9	10.0	90.5	55.0
2	ホライズン	6/7	20.0	98.9	65.0
3	ホクセイ		10.0	89.7	55.0

No	品種名	乾物収量					
		1番草		2番草		年計	
		kg/a	比	kg/a	比		
1	オーロラ	56.6	100	25.3	100	81.9	100
2	ホライズン	59.2	105	33.6	133	92.8	113
3	ホクセイ	51.8	92	28.7	113	80.5	98

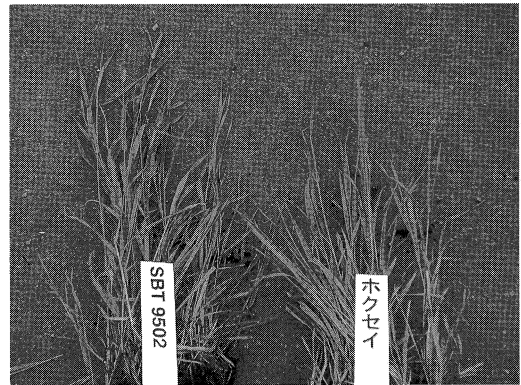


写真1 ホライズンの2番草出穂茎 (試作圃場：帯広市川西)

が続かず、良質のサイレージや乾草調製が難しいのが現状ですが、倒伏に強い品種は倒伏やナビキによる下草の蒸れが少なく、水分調整の場面で有利となります。

## 3. 「ホライズン」の試作結果 (帯広市川西の事例)

平成15年の春に帯広市川西の圃場にホライズン、ホクセイ、オーロラをそれぞれ単播で1haずつ、播種量20kg/haで播種しました。播種後のスタンドは良好であり、播種2年目の平成16年に1番草(6月8日)と2番草(8月11日)の調査を行いました。

ホライズンはホクセイやオーロラと比べて茎数が多く、密度が高い傾向にありました。また、1、2番草ともにホライズンの収量性が最も高く、2番草は出穂茎が多いため、特に多収となりました(表1、写真1)。今回の調査結果は2年目草地のものであるため、はっきりしたことは言えませんが、今後の継続調査によって、収量性や草地植生に関する、より具体的なデータが得られると思います。ホライズンの試作結果については、これからも随時紹介していきたいと考えております。(北研 谷津)

出穂始 月日	6/7	6/13	6/15	6/12	6/25
クンプウ				キリタツ	シリウシュウ
ホライズン			ノサップ		ホクセイ

図1. 出穂始めの全道平均 ('00~'01年：道内6試験場)

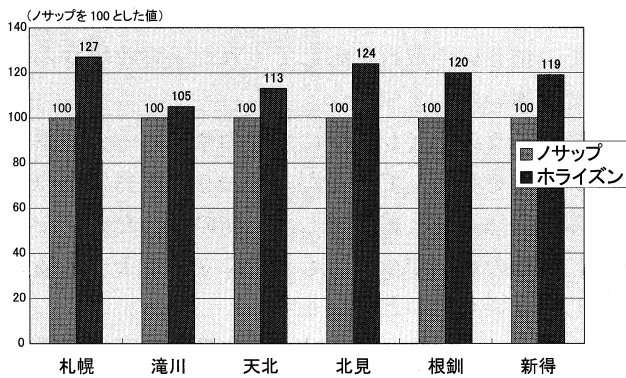


図2. 2番草乾物収量 (播種2年目と3年目の合計)

## 雪印種苗株式会社

編集発行人 城座 勝明  
本社004-8531札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号

TEL (011)891-5911

FAX (011)891-5774